

平成 29 年度 ASEAN 向け省エネ支援事業の初回会合に参加しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託を受けて、2017 年 5 月 4 日～6 日の 4 日間、フィリピン・マニラでの第 21 回 EE&C-SSN (Energy Efficiency and Conservation Sub-Sector Network) 会合で本年度の AJEEP (ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership) 事業計画・取組み内容等を説明し、ASEAN 各国と今年度事業実施内容の討議を行なって、以下の内容を確認しました。

- (1) スキーム 2 は、エネルギー管理士育成事業（4 ヶ年）の 2 年目として継続すること。
- (2) スキーム 3 は、カンボジア・ラオスを対象に S&L を含めて継続支援すること。
- (3) SEforALL (Sustainable Energy for All) はビルコードの受入研修を実施すること。



討議風景



EE&C-SSN 会場

第 21 回 ASEAN 省エネルギー部会（EE&C-SSN）の具体的な活動実施計画作成のための会議（フィリピン・マニラ）に参加しました。会議には ASEAN 各国（4 カ国代表は不参加）から ASEAN 省エネルギー部会（EE&C-SSN）の代表（Focal Point 又はその代理）及び ACE が参加し、本年度の AJEEP の事業実施計画を説明・決定しました。

- (1) スキーム 2 のエネルギー管理士育成事業は 4 年計画の 2 年目に当たり、1 年目の反省を踏まえて、①対象国を ASEAN10 カ国全てとする、②参加トレーナー数の変更、③ASEAN 主体の認定組織形成にむけての取組み、④総合評価の変更などを提案し、合意されました。
- (2) スキーム 3 については、カンボジアとラオスを対象に、両国の省エネの実現に向け、各国の省エネ制度等制定（S&L 制度、エネルギー管理士制度、ビル分野省エネガイドライン等）に向けたアクションプランの進捗確認と省エネ推進における TGW (Technical Working Group) の組織化と検討メンバーの固定化を含めた推進体制の確立を提言し、合意されました。
- (3) SEforALL はビルコードに関するワークショップを受入研修で実施することを提案し、合意されました。